

I 自己評価の取り組み

26年度の学校評価における自己評価について、園の先生に5段階評価と記述で記入してもらい、その結果を集計しました。

今回の自己評価の大項目は、下記の通りです。

- ① 保育の計画性
- ② 保育の在り方、幼児への対応
- ③ 教師としての資質や能力・良識・適正
- ④ 保護者への対応
- ⑤ 地域の自然や社会とのかかわり
- ⑥ 研修と研究
- ⑦ 一年間を通しての保育の振り返り・まとめ

各大項目について、それぞれの内容に合わせた評価項目を設け、十分～不十分の5段階評価にして自分の保育を振り返りました。

| | | | | |
|-------|---|-------------|----|----|
| 5段階評価 | : | 十分 | …… | 5点 |
| | | どちらかというと十分 | …… | 4点 |
| | | 普通 | …… | 3点 |
| | | どちらかという和不十分 | …… | 2点 |
| | | 不十分 | …… | 1点 |

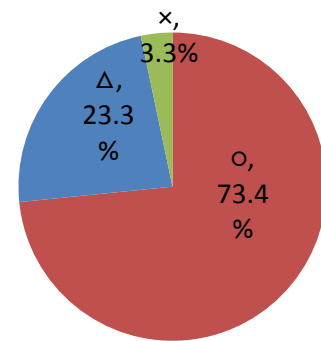
また、評価をした際の気づきや改善課題をまとめて、今後の自分の保育に活かせるようにしました。

Ⅱ 26年度自己評価の結果について

①「保育の計画性」について

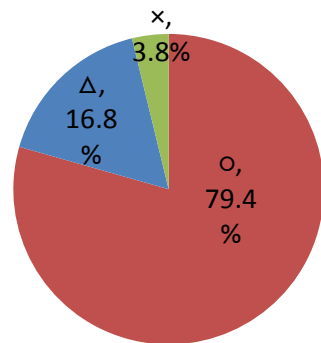
5段階評価による回答結果

月案や週案を立て、その時々の子どもの興味や実態も考慮しながら、教育課程を活かし計画している。
環境構成では自らのアイデアを豊富にして、必要なものを用意できるようにしていきたい。
保育の評価や反省は、時間の余裕が持てない中で、意識していくよう今後も心がけていきたい。



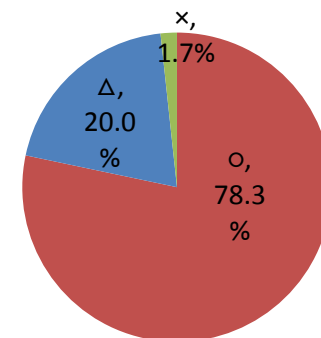
②「保育の在り方、幼児への対応」について

一人ひとりに寄り添い、共感しながら良さを認めたり、必要なことについて考えたりしている。
ケガの対応や異年齢との関わりについては、もう一度見直したい。
もっと、情報共有が必要との意見もあった。



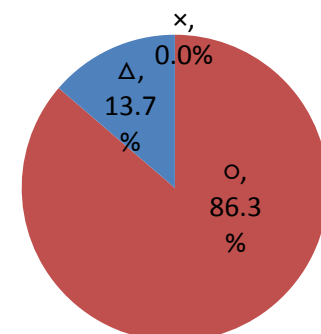
③「教師としての資質や能力・良識・適正」について

常に教師としての責任や向上心を持って前進する姿勢や意識を大切にしたいという答えが多かった。
教師同士の協力で安心できたり、力を深めることができたとの声もあった。



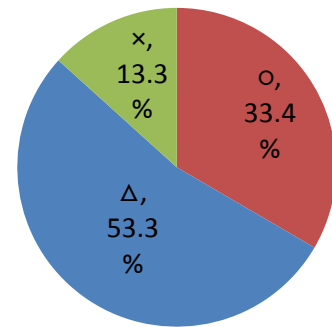
④「保護者への対応」について

信頼関係が築けるよう、保護者の方の気持ちにも寄り添い共に成長を喜んでいきたい。ミニノートでの子どもの様子の伝達については、文章力や書く時間を課題とする意見もあった。
不十分、どちらかというとな不十分の評価は0%で、よく気に留めている項目であることも窺えた。



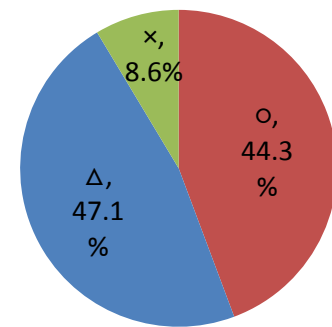
⑤「地域の自然や社会とのかかわり」について

具体的な活動内容と結びつけるのが難しいが、積極的に地域の自然や社会に関わりを持ちたい。教師自身が興味や関心を持ち、活用できる環境を作っていけると良い。



⑥「研修と研究」について

積極的に取り組んでいきたい気持ちはあるが、時間がつかれなかったり、自己課題が曖昧なままという課題が挙げられた。実践で活かせる反省や研修が求められる。



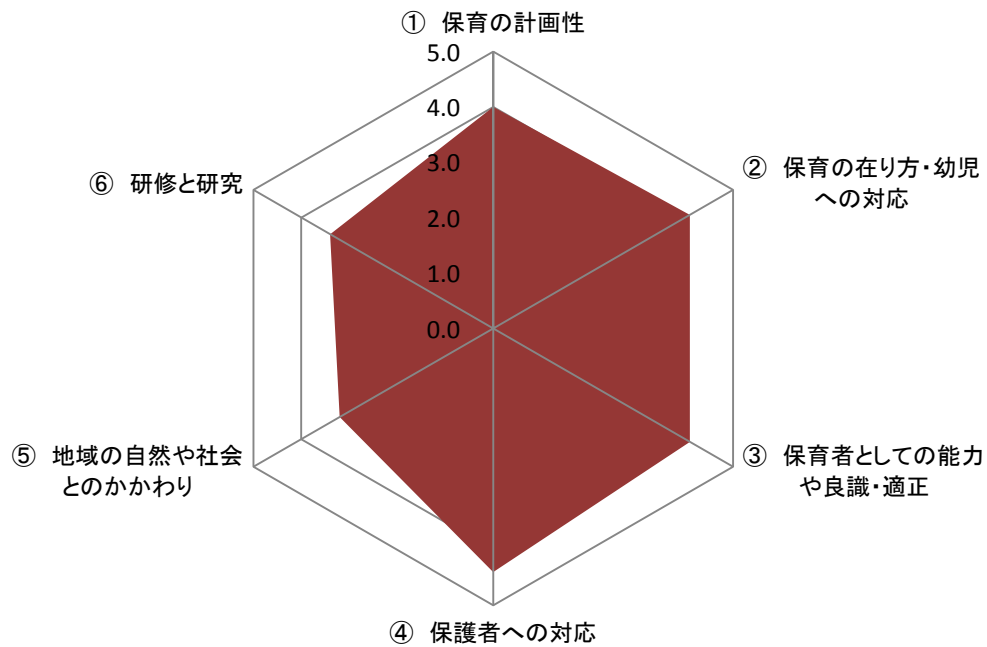
O → 十分、どちらかというと十分

Δ → 普通

x → 不十分、どちらかというの不十分

Ⅲ 自己評価分析表（各項目別 平均点）

| カテゴリー名 | 平均点（5点満点中） |
|-------------------|------------|
| ① 保育の計画性 | 4.0 |
| ② 保育の在り方・幼児への対応 | 4.1 |
| ③ 保育者としての能力や良識・適正 | 4.1 |
| ④ 保護者への対応 | 4.4 |
| ⑤ 地域の自然や社会とのかかわり | 3.2 |
| ⑥ 研修と研究 | 3.4 |
| 総 合 | 3.9 |



IV 検証結果と改善策、まとめ

自己評価の6項目が、全体的にバランスのとれた平均点となった。

「保護者への対応」についての得点が高かったのは前年度同様で、細項目の8項目全てが十分またはどちらかというところという評価を、6割がしていた。

また、総合の平均点を下回ったのは「地域の自然や社会とのかかわり」と「研修と研究」の項目であった。細項目が少ないことも原因のひとつになるかもしれないが、日々の保育の中で意識を持ち、積極的に取り組めるようにしたい。

5段階評価では、達成度を得点にして集計した結果、全体の平均が5点満点中3.9点で、“どちらかというところ”という評価に近い結果ではあったが、一つ一つの評価内容項目をもう一度見直し、それぞれ課題となる点を改善する努力を心がけたい。

これを反省の機会とし、新しいことにも目を向けながら、日々楽しんで子どもと関わられるように努力していきたい。